

働く世代への歯科保健活動

1. 課題

進行した歯周炎を有する者の割合は、40歳で52.5%であり、年齢があがるとともにその割合は増加していく。歯周病による歯の喪失を防ぐため、定期的な歯科受診、毎日のセルフケアの質の向上を周知していく必要がある。

2. 取組

(1) スマイル健康診査での周知活動

18歳～39歳の方を対象に行う健診会場で、歯科ポスターの掲示、対象年齢にあたる人へ個別にチラシを配付し受診勧奨を行う

(2) 健康教室などでの周知活動

いきいき健康教室・・・感染症対策のため、今年度は講話を中心に実施 企業 1件
他 学校 2件

市民健康講座・・・【日程】令和2年11月26日(木) 【受講者】21人

【演題】歯周病がもたらす3つの損～歯周病が及ぼす様々な影響～

【講師】リーフ歯科クリニック 院長 豊田 庸光 先生

(3) 再受診勧奨ハガキの送付

対象者：令和2年10月末時点で成人歯科健康診査未受診の40歳 3,898通

発送日：令和2年12月21日(月)



令和2年11月26日市民健康講座の様子



講師：リーフ歯科クリニック

院長 豊田 庸光 先生

3. 今後の取組

より多くの市民に自身の口腔管理に意識を持たせる周知が必要となる。来年度の健康増進計画後期計画の重点課題が、「歯と口の健康」であるため、新しい周知の仕方を模索しながら歯科保健を進めていきたい。